

契約電力を1,000kW→1,500kWに変更(増加)する場合

## 電気使用申込書

東北電力株式会社 御中

記入例

20XX年XX月XX日

住所 宮城県仙台市青葉区〇〇1丁目〇番〇号

名称 〇〇〇〇株式会社

代表者 代表取締役社長 〇〇 〇〇



貴社の電気標準約款、電気供給実施要綱、下記「東北電力からのお知らせ」および需要場所を供給区域とする一般送配電事業者または配電事業者が定める託送供給等約款およびその他の供給条件等における需要者に関する事項を遵守することを承諾のうえ、以下のとおり電気の使用を申込みます。

需要場所	〒 <b>XXX - XXXX</b> <b>宮城県仙台市青葉区〇〇1丁目〇番〇号</b>		
申込内容	<input type="checkbox"/> 新設 <input checked="" type="checkbox"/> 契約電力変更 <input type="checkbox"/> 契約種別変更 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
契約種別	<b>高圧季節別時間帯時間別電力 予備電力B(予備線)</b>		
契約電力	現在契約 kW	今回申込 kW	増減 kW
	<b>1,000</b>	<b>1,500</b>	<b>500</b>
その他の契約条件			
使用開始希望日	<b>20XX年XX月XX日</b>	業種・用途(製品名)	<b>電気機械器具製造 (プリンター)</b>
契約使用期間	月 日から 月 日まで	契約使用時間	時~ 時
需給地点(財産分界点)	<input type="checkbox"/> 新設・変更 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし		
保安責任分界点	<input type="checkbox"/> 新設・変更 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし		
電気方式	交流3相3線式	受電電圧 <b>6</b> k V	周波数 <b>50</b> ヘルツ
本社住所	<b>宮城県仙台市青葉区〇〇1丁目〇番〇号</b>		TEL <b>XXX-XXX-XXXX</b>
連絡者	<b>設備部 課長 〇〇 〇〇</b>		TEL <b>XXX-XXX-XXXX</b>
料金のご請求先名義	<b>〇〇〇〇株式会社</b>		
料金のお支払方法	<input type="checkbox"/> 口座振替 <input type="checkbox"/> 契約振込 <input checked="" type="checkbox"/> 変更無し		
料金ご請求先住所	〒 <b>XXX - XXXX</b> <b>宮城県仙台市青葉区〇〇1丁目〇番〇号</b>		TEL <b>XXX-XXX-XXXX</b>
ご使用量のお知らせ (※)	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する		<input type="checkbox"/> 希望しない
	自動検針移行時の配信方法	<input checked="" type="checkbox"/> メール	アドレス <b>〇〇〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇.co.jp</b>
		<input type="checkbox"/> FAX	番号
電気主任技術者	宛名 <b>〇〇〇〇株式会社</b>	部署名 <b>設備部 課長</b>	担当者 <b>〇〇 〇〇</b>
電気工事会社	会社名	<b>株式会社〇〇〇〇</b>	TEL <b>XXX-XXX-XXXX</b>
	住所	<b>宮城県仙台市青葉区〇〇1丁目〇番〇号</b>	
	担当者	<b>工事部 〇〇 〇〇</b>	TEL <b>XXX-XXX-XXXX</b>
廃止取次ぎ	<input type="checkbox"/> 希望する	契約番号	
		供給地点特定番号	
添付書類	<input checked="" type="checkbox"/> 単線結線図 <input checked="" type="checkbox"/> 使用区域平面図 <input checked="" type="checkbox"/> 負荷設備一覧 <input checked="" type="checkbox"/> 受電設備一覧 <input checked="" type="checkbox"/> 高調波流出計算書		
備考	(お申込み内容、増減理由等) <b>増設にともなう契約電力変更</b>		

※お知らせをご希望されない場合は、ご請求内訳書で使用電力量等を確認することが可能です。

「東北電力からのお知らせ」  
・ご記入いただきましたお客さまの個人情報につきましては、電気事業をはじめとする当社定款記載の事業の適切な遂行のために必要な範囲で利用いたします。  
・個人情報の利用目的につきましては、当社ホームページ(<https://www.tohoku-epco.co.jp/>)でも確認いただくことができますので、あわせてご覧ください。

# 記入例 使用開始希望日以降1年間の電力使用計画

使用開始希望日 **20XX/4/1**

色付け個所のみ入力をお願いいたします。

開始月	月別	区分	最大電力 kW	電力量 10 <sup>3</sup> kWh	負荷率 %
●	4	受電	1,400	745	69
		自家補			
		合成	1,400	745	69
	5	受電	1,400	747	67
		自家補			
		合成	1,400	747	67
	6	受電	1,400	745	69
		自家補			
		合成	1,400	745	69
	7	受電	1,500	893	80
		自家補			
		合成	1,500	893	80
	8	受電	1,500	893	80
		自家補			
		合成	1,500	893	80
	9	受電	1,500	864	80
		自家補			
		合成	1,500	864	80
	10	受電	1,400	747	67
		自家補			
		合成	1,400	747	67
	11	受電	1,400	745	69
		自家補			
		合成	1,400	745	69
	12	受電	1,400	747	67
		自家補			
		合成	1,400	747	67
	1	受電	1,400	747	67
		自家補			
		合成	1,400	747	67
	2	受電	1,400	715	71
		自家補			
		合成	1,400	715	71
	3	受電	1,400	747	67
		自家補			
		合成	1,400	747	67
計		受電	1,500	9,335	71
		自家補			
		合成	1,500	9,335	71

◆月間負荷率の求め方  
 その月の使用電力量(kWh)  
 契約電力(kW) × 暦日数 × 24

◆年間負荷率の求め方  
 年間使用電力量(kWh)  
 契約電力(kW) × 365日 × 24

### 契約電力算出根拠

負荷設備総容量 × 需要率(注) = 2,094.750kW × 70% = 1,466.325 ⇒ 1,500kW

(注) 需要率とは、実際の最大需要電力と全体の負荷設備容量との比のこと。上記算式における需要率についてはあくまでも一例であり、契約電力算定の際は電気工事会社と相談のうえ決定ください。

- (注) 1 自家発補給電力をご契約されているお客さまは、自家補の最大電力、電力量もあわせてご記入ください。
- 2 「特別高圧」, 「高圧500kW以上」, 「高圧500kW未満で実量協議減」に該当されるお客さまは契約電力算定根拠をご記入ください。
- 3 新設のお申込みで負荷設備電力および受電設備電力が50kW未満で高圧供給を希望されるお客さまは、契約電力算定根拠に適用希望理由をご記入ください。



《留意事項》

- ・受電設備および発電設備と単線結線図の記載内容の相違が散見されております。申込前にご確認ください
- ・300kVAを超える受電設備を新增設または同容量更新する場合、励磁突入電流関係資料(対策資料や特性曲線等)のご提出をお願いいたします。
- ・受電電圧と同位の電圧でご使用される負荷設備についても記載が必要です。
- ・2次側が受電電圧と同位の電圧の変圧器、2次側に負荷設備が直接接続されていない変圧器、スコット結線変圧器、予備設備であることが明らかな変圧器は記載対象外です。
- ・結線方法が「V-V」(V結線)の場合、「◆V結線群容量計算」で値を算定のうえ、合計容量に記載をお願いいたします。

記入例

色付け箇所のみ入力をお願いいたします。

2. 受電設備

用途	相	電圧(V/V)	容量(kVA)	結線	台数		合計容量(kVA)		
					変更前	変更後	変更前	変更後	
<b>受電設備に変更がない場合</b>									
変圧器	三	6000/210	500	Y-Δ	2	2	1,000	1,000	
<b>異容量の受電設備を増設する場合</b>									
変圧器	三	6000/210	500	Y-Δ	2	2	1,000	1,000	
変圧器	三	6000/210	300	Y-Δ	0	1	0	300	
<b>同容量の受電設備を増設する場合</b>									
変圧器	三	6000/210	500	Y-Δ	2	3	1,000	1,500	
<b>異容量の受電設備を更新(入れ替え)する場合</b>									
変圧器	三	6000/210	500	Y-Δ	1	0	500	0	
変圧器	三	6000/210	1000	Y-Δ	0	1	0	1,000	
<b>同容量の受電設備を更新(入れ替え)する場合</b>									
変圧器	三	6000/210	500	Δ-Δ	1	0	500	0	
変圧器	三	6000/210	500	Δ-Δ	0	1	0	500	
合計									
受電設備電力(kW)									

3. 自家用発電設備

発電機種類	電圧	運転形態	容量(kVA)	力率(%)	台数		変更前出力(kW)	変更後出力(kW)	連系の有無
					変更前	変更後			
1. ディーゼル・ガソリン	高圧	非常用	50	80	1	1	40	40	無
2. ガスタービン	高圧 低圧	常用 非常用 その他							有・無
3. 蒸気タービン	高圧 低圧	常用 非常用 その他							有・無
4. 水力	高圧 低圧	常用 非常用 その他							有・無
5. 太陽電池	高圧 低圧	常用 非常用 その他							有・無
6. 蓄電池	高圧 低圧	常用 非常用 その他							有・無
7. その他( )	高圧 低圧	常用 非常用 その他							有・無
合計							40	40	

◆V結線群容量計算 A=電灯電力用変圧器容量 B=電力用変圧器容量

変圧器容量(kVA)	その変圧器に接続される単相負荷設備の有無	単相負荷設備容量(kW)	総負荷設備容量(kW)	群容量(kVA)
A				
B				
備考				

コンデンサ	容量(kvar)	台数	
		変更前	変更後
	200	2	2

4. 連絡体制(特別高圧で新規に受電のお客さま、または内容に変更がある場合に記入ください。)

連絡窓口	部署	電話	FAX	E-mail
給電連絡				
	一般連絡			
給電連絡				
	一般連絡			

◆計算式

(1) V結線(同容量変圧器)の場合

① その変圧器に単相負荷設備の接続がない場合  
 群容量 =  $A \times 2 \times 0.866 =$   ※小数点以下第一位四捨五入

② その変圧器に単相負荷設備の接続がある場合  
 $C = A \times \text{単相負荷設備容量} / \text{総負荷設備容量} =$    
 群容量 =  $(A \times 2 - C) \times 0.866 + C =$   ※小数点以下第一位四捨五入

(2) 変則V結線(異容量変圧器)の場合

$(A-B) = A \times \text{単相負荷設備容量} - B \times \text{単相負荷設備容量} =$    
 $D = (A + B) \times \text{単相負荷設備容量} / \text{総負荷設備容量} =$

① (大-小)がBを上回る場合  
 群容量 =  $(\text{大} - \text{小}) + (\text{大} \times 2 \times 0.866) =$   ※小数点以下第一位四捨五入

② (大-小)がBを下回る場合  
 群容量 =  $(A + B - D) \times 0.866 + D =$   ※小数点以下第一位四捨五入

備考